

緑のふるさと協力隊員・千葉遥加の奮闘記

風ノハルカ

Chiba Haruka volume1

皆さん初めまして^^

皆さん、こんにちは。千葉県柏市出身、緑のふるさと協力隊第16期生の千葉遥加18歳です。わたしはついこの間まで、千葉県松戸市立松戸高校に通う高校生でした。

わたしがなぜ、協力隊に応募しようと思ったか。実はこの高校時代に関連しています。わたしが在籍していた国際人文科。ここの先生に大きな影響を受けたのです。先生は日ごろから、「大学に行くだけが進路のすべてじゃない」と話していました。色々な世界に触れることが人生を豊かにする秘けつと教えてくれていたんです。そのころ見つけた協力隊の募集パンフ。わたしはこれを見て、半分勢いで応募しました。そしてほぼ直感で、まったく予備知識のない静岡県「川根本町」を希望しました。先生の言う「さまざまな経験」をするため、あえて知らない世界に飛び込んでみようと思ったんです。

4月13日、大井川鐵道に揺られ本町を訪れました。周りは山、川、茶畑。お茶の木を見たことのないわたしの目には、山肌に広がる茶畑が新鮮に映りました。わたしが住んでいた柏市とはまったく違う、新しい世界でした。

こちらに来て2カ月と少し。一番茶時期は山処苑さんにお世話になり、今は農林業センターでの農作業が活動の中心となっています。主にお茶のポット苗の土入れ作業や畑の草取り、自然薯畑の管理などを行っています。ポット苗は毎日どんどん増えていくし、自然薯の実物も見ただけではないし…。分からないことだらけですが、センターの皆さんにやさしく教えてもらいながら、畑で汗を流しています。

4月下旬には赤石太鼓保存会に入会し、太鼓の挑戦も始めました。ALTの先生たちや子どもたちと一緒に週1回の練習を楽しんでいます。ちょっとしたストレス解消にもなりますよ。

これから約9カ月間、町内のいろいろなところに出向いて、この町のことを知っていきたいと思います。皆さんのところにお邪魔することもあるかと思いますが、そのときは色々教えてください。

まだ自分が、ここで「何ができるのか？」は、正直よく分かりません。皆さんに教わりながら、自分にできることを探しながら、隊員活動を頑張っていきたいと思います。皆さん、よろしくお願いします。来年3月、自分がどのように変わっているか、今から楽しみです。

千葉遥加（ちばはるか）

千葉県柏市出身 緑のふるさと協力隊員第16期生

緑のふるさと協力隊とは

特定非営利活動法人地球緑化センターが実施する、農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣する事業。協力隊員たちは、農林畜産業など担い手が不足する第1次産業や、新しい刺激を求めている観光施設などで、隊員活動に励み、地域の活性化に貢献する。遥加さんは第16期生、川根本町3代目の隊員。

